

プノンペン都における省エネ・再エネの導入促進による低炭素化推進事業 (北九州市－プノンペン都連携事業／エネルギー分野)

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

環境省 「平成28年度低炭素社会実現のための都市間連携事業」 (2016年度)

プノンペン都と北九州市の提携関係の下、大型病院等を対象とした再生可能エネルギーの導入と高効率な空調システム等の省エネ化の推進、セメント工場を対象とした排熱回収発電システムの導入等を通じて、大幅なGHG排出削減を目指している。

活動	①大型病院を対象とした省エネ対策等を通じた低炭素化の推進の導入	②大型ショッピングモールへの大規模太陽光発電と高効率チラーの導入 (2016年度案件として採択)	③セメント工場への廃熱回収発電システムの導入
事業内容	エネルギー消費量の大きな病院施設に再生可能エネルギーの導入 (太陽光発電) を検討する。	再生可能エネルギーの導入 (太陽光発電) と省エネ (高効率チラー) を通じて、グリッド電力を生成する段階での化石燃料の燃焼から生じるCO2排出を削減する。	CO2排出削減効果の大きいセメント工場における廃熱回収発電システムの導入を検討する。
導入技術	太陽光発電システム	太陽光発電システム 高効率チラー	廃熱回収発電システム
イメージ図 【想定している 場所等】			